

健康教育

- ☆ 心身共に健やかに…………… 2
—めあてをもってはげむ子ども—
- ☆ 自ら守り育てる心とからだ…………… 7
—大和一致の徳山小教育—
- ☆ 育てあすっ子たくましく……………12
—豊かな心とじょうぶな体を育てる保健活動—
- ☆ 自らやりぬく大島の子……………17
—豪雪の中にたくましく生きる—

昭和57年度健康優良学校 全国特別優秀校・全国優秀校

〈朝日新聞社提供〉



no 87



(子どもたちと学校長)

心身共に健やかに

——めあてをもってはげむ子ども——

富山県西砺波郡福光町立福光中部小学校

校長 吉田 俊雄

1. はじめに

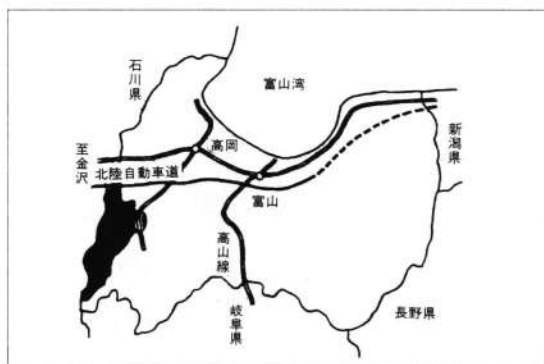
「おはようございます」
と、トラックを走る子どもたちが
1周ごとに声をかけていきます。
今日のめあてだけ走って、歩きかけていた子が
「おはようございます」
と、もう1回走っていきました。
かわいい子どもたちです。
生き生きとした子どもたちです
こうして、充実した1日が始まるのです。
子どもたちも、私も。 (私の年賀状より)

私は、あいさつは『心の豊かさと健やかさのバロメーター』であると思っている。毎朝明るいあいさつを交わしながら、元気に走り続ける子どもたちの姿は、「心身共に健やかな子どもの育成」を目指す本校の健康教育のシンボルである。

2. 学校の概況

福光町は富山県の西端、石川県に隣接する人口約23,000の町である。学校統合計画が完了し、小学校4、中学校2、県立高校1、県立養護学校1、がある。

本校は、3校を統合して昭和52年9月に開校された。学級数26(内特殊2)児童数は875名である。校区は



(福光町の位置)



(校舎全景)

3. オープンスペース構造の校舎

本校の校舎には、その構造上いくつかの特色がある。

(1) 教室の壁は可動式である。

天井に2 m間隔の格子状にレールが設置されており、可動式パネルを組み合わせて、大小任意の空間を容易に作ることができる。

(2) 学年のフロアすべてが学習の場である。

1 学年（4 学級、約150名）が使用する学年フロアは約550㎡である。これは普通一般の教室8～9室分にあたるスペースである。

(3) 全フロアがカーペット敷きである。

騒音の発生が少なく、吸音効率もよい。視覚的にも落ちつきと和らぎがある。また、滑る、転倒する、などによる傷害事故の防止にも役立ち、冬季の保温効果も大きい。



（広い学年フロア）

(4) 各所に多目的スペースがある。

このスペースもオープン構造となっており、児童は自由に多様に活用している。

(5) 管理棟ロビーは吹き抜けになっている。

視覚上の変化と、1～3階の連続感を与えている。吹き抜け部1階の床は、カーペットの色調から「緑のロビー」の愛称で呼ばれ、各種の掲示や展示に利用されている。



（吹き抜け）

このような構造の校舎が建設されたのは、ア、どのような学習形態にも対応できる。

イ、児童にとっては学習の場であると同時に、生活の場でもある校舎に、希望とゆとりと安らぎを持たせたい。

などの発想に基づくものである。

4. 教育目標

（主 目 標）

知・徳・体の調和のある豊かな人間性と
たくましい実践力を身につけた子どもの育成

（具 体 目 標）

自ら学び
よく考える子ども

思いやりがあり
助け合う子ども

心身共に健康で
がんばりぬく子ども

（児童のめあて）

たくさん書く子

進んで世話をする子

記録を伸ばす子

（期待する
児童像）

学習のめあてをはっきり持ち、生き生きと学び続ける子。
自分で考え、自分で判断できる子。

学校・学年・学級・家庭・地域などを自分の眼で見つめ、自分にできる世話を見つけ、進んで実行する子。

自分の健康や体力は自分で作ることを目指し、自分のめあてを決めて、一步一步着実に前進していく子。

5. 「開かれた学校」を目指して

本校では、「教える」授業から「自ら学ぶ」学習へと、教育の質的転換を目指し、「開かれた学校」づくりに努めている。

(1) 「人間の壁」を開く

ア、教師相互の壁

“1人で考え、1人で指導。するよりも”4人で考え、4人で指導。し、“1人の子どもを4人で見て、4人で育てる。ために、学年内教師の特性を生かし、相互に補い合う密接な協力指導体制を確立する。

イ、教師と児童の壁

教師は「教える人」、児童は「教えられる人」ではなく、“子どもと共に学び。子どもの学習を支援する。教師となるように努めている。

ウ、児童相互の壁

学習の内容や方法に応じ、随時学級を開き、多様な集団を編成して学習を展開するので、学年内は“共に学ぶ仲間。である。

(2) 「空間の壁」を開く

学習に必要な規模の空間を容易に構成できるので、多様な学習形態を工夫し、児童が主体的に学ぶ学習指導の実践に努めている。

6. 健康教育の推進

(1) し・い・そ・う運動——総合的の近視対策

昭和56年度は近視対策として「1・2・30運動」を実践した。これは

- ① 1時間以上続けてテレビを見ない。
- ② 2m以上離れてテレビを見る。
- ③ 30cm離して読んだり書いたりする。

ことを強調した運動である。1年間の実践から、次のような成果と反省が見られた。

ア、かなりの視力回復がみられた。

イ、対症的方法だけではなく、根本的な対策を実施すれば、更に効果が上がるのではないか。

そこで、本年度は総合的の近視対策として、「し・い・そ・う運動」を推進してきた。

- ① 姿勢を正しくする。
- ② 1・2・30運動をする。
- ③ 外へ出て、太陽と遊ぶ。
- ④ うちでも好ききらいしないで食べる。

年間を通して実践する運動であるが、マンネリ化を避

けるために、月ごとの努力項目を決め、更に毎月強調週間を設けて実践の努力をしている。強調週間にはチェックカード（学校用、家庭用）を配布し、学校では自己評価、家庭では家族との話し合いによる評価を記入する。努力した児童には、児童保健委員会が「健康No.1賞」を授賞している。



(2) 記録を伸ばす子——めあてにいとむ体力づくり

ア、朝の持久走

毎朝始業前10分間・低学年は120m、中・高学年は200mのトラックを走る。学年ごとに回数・距離・スピードなど記録の方法を工夫し、一人一人がめあてを決めて走り続けている。



(朝の持久走)

イ、記録カードの利用

水泳・なわとび・鉄棒運動等に記録カードを工夫し、体育時や自由遊び時に伸びた記録を記入し、一步一步前進していく。

ウ、基準タイムにいとむ徒競走

運動会の徒競走は、身長順ではなく、練習時のタイ

ムで組むので、記録の似た児童の競争となる。また、学年別、男女別に2段階の基準タイムを設け、そのタイム内にゴールへ入れば努力賞（2色）を与える。たとえ7位でも最後までがんばれば、受賞の希望があるわけである。

(3) PTAとの連携

PTA保健委員会は、学校のし・い・そ・う運動に同調し、毎月の強調週間チェックカード（家庭用）の集計を行い、家庭では親子で実践するよう全会員に働きかけている。

7. 児童が主体的に進める保健活動

(1) 児童保健委員会の活動（実践例）

自主的に、全校的な保健活動を進める。

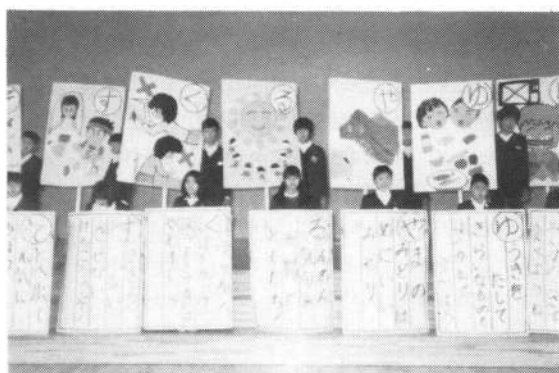
6月 6480運動

よい歯の冠授賞、6480イラスト募集、
むし歯予防No.1大会

8月 し・い・そ・う運動イラストかるた作り（全校児童が1人1点考案作成）

9月 イラストかるた審査・代表作選定

11月 「し・い・そ・う運動」かるた大会



（しいそう運動イラストかるた）

(2) 各委員会の活動（分担と協力の例）

一人一人の健康生活の実践に、積極的に働きかける。

ア、保健委員会

「目を守る一日のくらし」展示資料作成。

- ・起きる ・朝食 ・学習 ・家での勉強 ・テレビを見る ・遊びと手伝い ・おやつを食べる
- ・楽しく遊ぼう ・ねる

イ、掲示委員会

保健委員会が作成した「目を守る一日のくらし」

9個の作品を、緑のロビーに展示し、全校児童の関心と実践意欲を高めた。



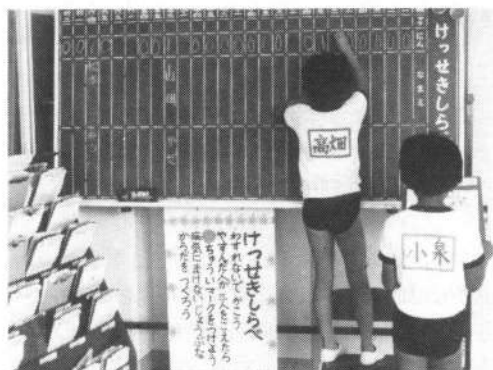
緑のロビーに展示された目を守る1日のくらし

ウ、放送委員会

緑のロビーに作られた保健コーナーに録音機を設置し、健康な暮らしについての録音をながして、展示効果を盛り上げた。

(3) 学級の保健係

学級の健康調べや欠席調べ、学年フロア内の換気や照明、清潔などに気を配っている。

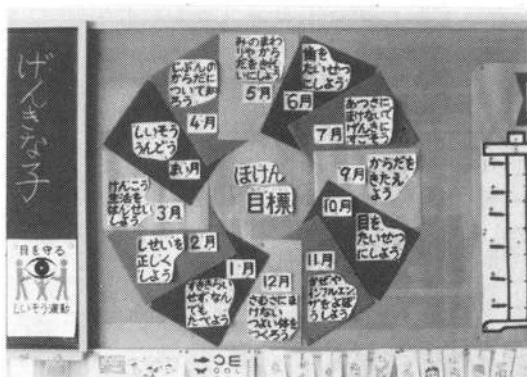


（学級の保健係）

8. 「開かれた保健室」——保健センターとして

保健室は、学校の保健指導と保健管理の拠点であり、安全指導や安全管理にも重要な役割りを果たしている。また子どもたちにとって、保健室は健康診断や健康相談の場であり、時には救急措置を受ける場でもある。

本校では上記のほか、保健室の機能を更に拡大し、子どもたち（必要により保護者も）が気軽に利用できる保健センターの機能を持つ「開かれた保健室」づくりに努めている。



(保健目標)



(保健室内部)

ア、子どもが親しみ環境づくりを工夫する。

子どもが自分の健康について不安や疑問を持った時、気軽に入室し利用できるふん囲気の保健室とするように努める。

イ、広報活動を充実する。

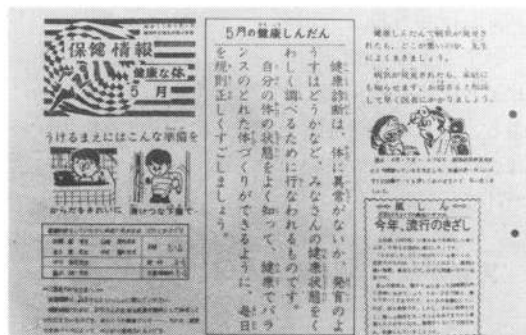
子どもの健康について、家庭の理解を深め、より協力を得るために、毎月の保健情報・保健だよりや臨時の通知などを発行し、密接な連携を図っている。



(広報活動)

ウ、保健情報の収集・整理と、その活用に努める。

子どもが興味や関心を持つ情報や、疑問の解明に役立つ情報などを、広く、多く入手するよう努力している。



(保健情報)

エ、保健資料の開発・作成を進める。

保健室はまた、子どもたちの保健活動の本拠でもある。豊かなアイデアを出し合い、調査結果の報告資料や、努力目標を普及徹底するための資料などの作成に励んでいる。

9. おわりに

本校の健康教育は、特定の狭義の保健活動や体力づくりではない。「豊かな人間性とたくましい実践力を身につけた子どもの育成」を目指す学校教育目標具現の一環として、心身共に健やかな子どもを育てる努力をしてきた。そして、「開かれた学校」づくりを目指す他の学習や活動と同様に、保健活動も「一人一人の児童が、自分のめあてをもって、自ら実践する。努力を続けているのである。

このささやかな本校の教育実践に対して、健康優良学校特別優秀校の栄誉を賜ったことを、心から感謝している。

また、私達のつたない営みを、全国へ紹介できる機会を提供していただいた本誌にも、深甚の謝意を表すものである。

本年10月25日(火)には、ささやかながら本校の健康教育の一端を公開し、全国の先輩・同志からのご批正を賜る予定である。



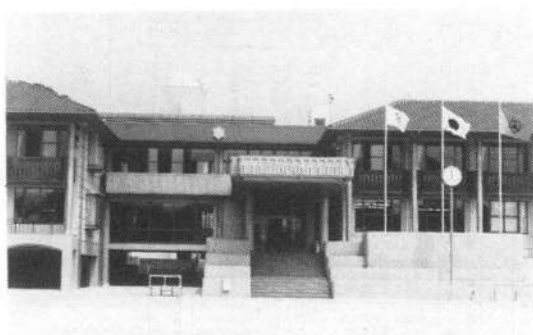
学 校 長

自ら守り育てる心とからだ

——大和一致の徳山小教育——

山口県徳山市立徳山小学校

校長 河 口 正 人



徳山小学校 玄関

1. はじめに

昭和50年11月、日本一健康優良学校の栄冠に輝き、以来、毎年学校経営の柱には、本校の伝統として定着してきた健康教育を取り上げ継承している。

実践事項を整理・改善することにより「じょうぶなからだをめざして意欲的に取り組む子どもの育成」から「自ら守り育てる心とからだ」「たくましいからだ」と豊かな心」を育てるべく質の変換を図りながら、知・徳・体の全人教育をめざして、全児童・全職員・PTAが、藩校以来の「大和一致」の精神で毎日の実践活動に努めている。以下、その一部を紹介する。

2. 本校の概要

(1) 本校の沿革

本校は、古く天明年間の徳山藩の藩校「鳴鳳館」にその源を発し、明治5年の学制頒布により「鳴鳳館」を改称した「興譲館」の後を受けて開校し、爾来110年の古い歴史をもつ学校である。現在の児童数1123名、学級数は32の大規模校である。

昭和50年、学校、家庭、地域が一体となつての健康教育への取り組みが高く評価され「健康教育日本

一」を受賞した。

これを機に、今までの健康教育の成果を重視、継承するとともに、児童の実態をもとにさらに新しい方向を求め、実践と深化拡充を図り研究の努力を重ねた。こうした継続実践の努力が認められ、昭和57年11月、健康優良学校全国特別優秀校として再び日本一の栄冠に輝いた。

(2) 校区の実態

本市は、明治末期より工業都市として発展し、戦後さらに石油産業の発展に伴い、海岸線沿いに石油化学コンビナートを形成している。また古くから政治、文化、交通、経済の要地であり、山陽新幹線の開通とともに、周南地域における中核都市としての機能を発揮している。

本校は、徳山駅より北へ約500m、国道2号線沿いにあり、商店街・官公庁が隣接した市街地の中心部に位置している。

3. 本校の教育目標

輝かしい歴史と伝統をふまえて「未来をひらくたのもしい日本人の育成」を目標に児童と教師とが「敬」と「信」と「愛」とによって深く結ばれ営まれる全教育課程の中で、

- 体力・気力に満ちた剛健で実践力のある子
(つよい子)
- 真心をもって働き、思いやりのある子
(よい子)
- 進んで力の限りをつくし、勉強にいそしむ子

の教育目標を設定し、その育成をめざしている。

〔徳山小学校学校経営方針〕



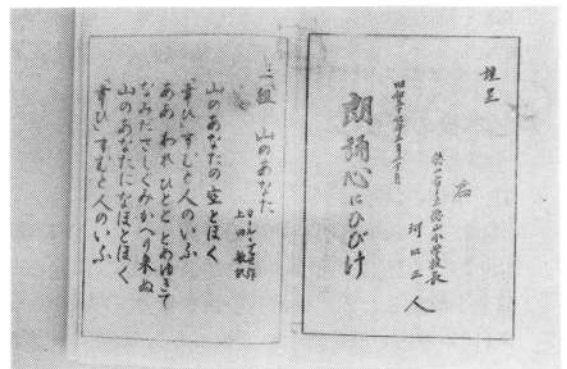
4. 本校の特色ある活動

(1) 心の健康

① 心にひびく素読暗誦

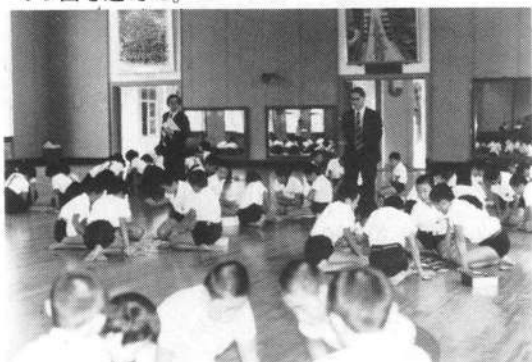
昭和53年度より4年生以上に素読暗誦を指導している。毎月初め、「朗誦心にひびけ」（河口校長編・素読資料集）の中から選ばれた資料を反復朗誦、暗記、暗写する過程において、集中力・暗記力・根気力・書写力が生まれ、古語や和語等の困難を乗り越えて学習することにより忍耐力や克己心を育てる。また、校長より合格印を押印されることにより、学習の成功感や充足感等をも味わうことができる。担任の範読や担任もいっしょになっての一斉朗読、そして担任による検閲は、担任対子供、子供対子供の人間関係をさらに深くゆるぎないものとし、豊かな

心情を育て、人間形成の基礎を培う心の糧として教育的に大きな意義をもつものである。



素読資料集
「朗誦心にひびけ」

朝の会、終わりの会を利用した朗誦、給食時間を利用しての放送による鑑賞、あるいは、暗誦をもとにした「百人一首カルタ大会」も実施され、今年で3回を迎えた。



百人一首 校内カルタ大会

② 心もみがく清掃活動

本校の清掃活動は、清掃を単なる作業活動としないで、より美しくした満足感や人のためにつくした喜びにも目を向けさせ、無言で奉仕する心を育てることをねらいとしている。

また、5・6年生は、年間を通して始業前20分間愛校当番活動（奉仕活動）に取り組んでいる



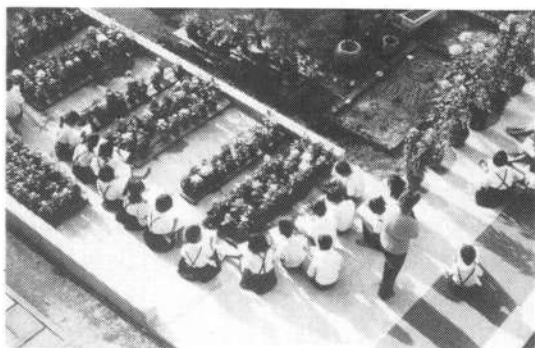
無言で清掃「心もみがく」



5・6年生 愛校当番の活動

③ 朝の活動

始業前の15分間を朝の活動の時間としている。月・木曜日は、算数・国語のドリルの時間、水曜日は、表現の時間とし、各学年年間指導計画のもとに全校一斉にクロッキーなどを実施している。金曜日は、朝の健康時間とし、衛生検査や健康に関するいろいろな問題について話し合う時間としている。



〈朝の活動〉花だんのまわりのスケッチ



〈朝の活動〉健康な体をつくるための話し合い

④ ひとり一鉢 さいばい

学年毎に花を選び、一人ひとりが花を育てている。水やりや草取りの世話をし見事な花を咲かせている。

みんなで
つくる
一人一鉢



⑤ 学力テスト

一人ひとりの学力を正しく把握し、つまづきを発見し、適切な指導をするために2学期末に5年生は、算数・国語・理科・社会の4教科を、他の学年は、国語・算数の2教科の学力テストを毎年実施している。その結果を分析、診断、評価し、治療、対策を講じ、次の学習への指針を示し、学習意欲を高めようとするものである。

(2) からだの健康

① 姿勢の矯正

近視の矯正が主体であったこれまでの望遠訓練に姿勢の矯正も加え、注意の集中力、持続力等の養成をねらっている。

登下校時2分間、所定の場所での自主的望遠訓練、健康時間の乾布まさつ後の望遠訓練時に実践し、厳しく指導している。

② はだし、はだかの推進

年間を通して、はだか・薄着・はだしを奨励している。

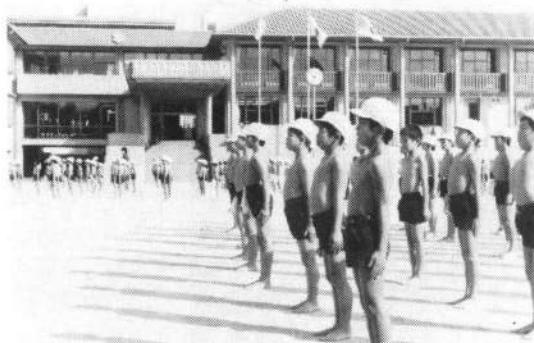
③ 集団行動訓練

日々の健康時間の中に集団行動訓練を設けている。この訓練を通して集団としての規律や動作等の基本的な習慣を指導している。学級・学年単位の行進やかけ足、体操等、季節に合わせて計画的に実施している。

④ 遊びの幅を広げるための運動施設

子供の創意工夫によって遊びの幅が広げられ、心身の健康な成長を促す運動施設として校内アスレチックがある。

ロープ渡り（モンキーロープ）、タイヤ登り（トライアングルタワー）、電柱丸太の平均台等は、子供の冒険心をそそり、それらに積極的に挑戦し、ねばり強くがんばる子供たちの姿が見られる。



健康時間の望遠訓練と姿勢指導



校内アスレチックで
元気に遊ぶ

(3) 地域との連携

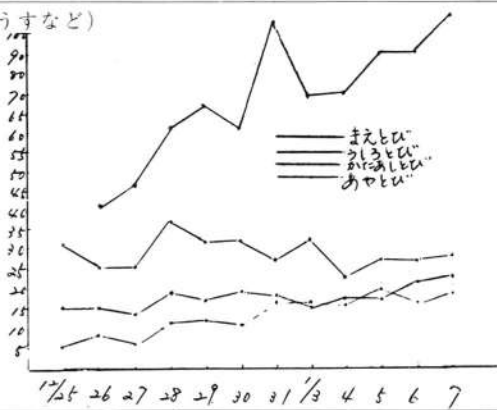
・家庭や地域の健康づくり

長期の休みには、各家庭で一人ひとりの子供に健康づくりのための実践課題を決め家族ぐるみで健康づくりが展開されている。また、各地区でも場所や活動内容を決めて健康づくりが展開されている。

その内容は、異学年のグループであるためにラジオ体操や望遠訓練、親睦をかねてのなわとび、ボール運動、伝統的遊び（陣とり、六虫、石けりなど）等や空かん集め、町内清掃等の奉仕作業が行われている。いずれも6年生が中心となって地区の世話をしている。



家族ぐるみの健康づくり

昭和57年度 冬休み わたしの健康 心からだ づくり			
徳山小学校			
1 年 3 組	なまえ	松永 幸司	保護者名 松永 譲
努 力 点 め あ て	・なわとび		
実 践 方 法	毎日時間を計り、毎回でエニハに記録する。		
期 間	12月25日 ~ 1月7日		
成 果 かわったこと	前半は、時間も普通に過ぎていたが、後半は、中休みでできた。		
記録（経過、ようすなど）			
反 省 今 後 へ の 期 待	・不得意な飛び方を本人のペースに合わせて これからも行ってみよう ・毎日続けることで体力増進し、精神面も強くなれるように思われる。		

※おうちのひとと、いっしょに、かきましよう。



地区でとりくむ町内清掃

5. おわりに

以上、徳山小の健康教育についてその概要を紹介した。

健康維持の基本は、一人ひとりが自分に合ったものを確実に実践していくことである。将来とも心身ともに健康に過せるようその素地を小学校のときに培おうとして諸活動を展開しているわけであるが、今回の受賞を新たな出発点とし、たくましい子育てを大和一致の精神でさらに実践したいと考える。

—素読文より—

ああ風に吹かれる小学の生徒よ

伸びよ 育てよ

魂を鍛えろ 肉を鍛えろ

冬の寒さに はだをさらせ

冬は未来をつつみ 未来をはぐくむ

冬よ 冬よ

おどれ 叫べ とどろかせ

高村光太郎
「冬の詩」
より



愛知県東加茂郡足助町立足助小学校

校長 篠瀬 鉦三

育てあすっ子たくましく

－豊かな心とじょうぶな体を育てる保健活動－

1. はじめに

本校が健康教育に取り組んだのは、昭和50年度、愛知県教育委員会より、「安全教育」の研究指定を受けたことに端を発している。自ら安全な生活を創造し、実践できる子の育成をねらい、生活安全を中心に「攻めの安全教育」を推し進めてきた。

その反省から、身を守るには、瞬発力、敏捷性を着けさせることの大切さを深く感じ、「体力づくり」の研究へと継続してきた。

昭和53年度からは、楽しさの中で体力づくりができるよう、教科体育では、「子どもが考え、つくり出し、できた喜びを大切にする授業」の実践、そして、動く楽しさを生み出す施設・遊具づくりに努力を重ね、体育活動への意欲化を図ってきた。

昭和55年度以降は、「粘り強い体力・気力の育成」に加え、「思いやりのある暖かい気持ちをもった子どもの育成」を重視し、両者を兼ね備えた子どもの育成こそが、健康教育であり、人づくりであるという認識を一層強くし実践を積み重ねてきた。

2. 学校をとりまく地域の環境

(1) 恵まれた自然環境

本校は、名古屋市の北東40km、豊田市の北20kmの三河高原の中にあり、海拔約140mの所に位置している。

人 口	町総人口	11,306 人
	世帯数	2,780 戸
	学区人口	3,020 人
	世帯数	830 戸
学 校 の 位 置	東 経	137° 19' 26" 6
	北 緯	35° 7' 58" 0
	標 高	143 m

土地の大部分を山地が占める足助町の中にあって、巴川と足助川がつくりだす低地、そして、古くから商店が立ち並ぶ町の中心部を学区としている。塩の道の宿場町として栄えた所で、白壁土蔵や妻入り塗りごめづくりの家屋が今なお多く残されており、落ち着いた町のたたずまいとともに、学習の素材としても恵まれている。

また、本校の学区には、東海地方一のもみじの名所「香嵐溪」があり、春の桜・夏の緑と清流・冬の雪など、四季を通じて安らぎといこいを与えてくれる。そ

こはまた、色鯉の放流やボランティアなど、子ども達の活動する場でもある。



山紫水明 もみじの名所「香嵐溪」

(2) 教育関心の高い学区民

隣接する自動車産業の盛んな豊田市内の工場に勤める人、町内で商業を営む人の多い地区住民も、そのほとんどが本校の卒業生であるため、学校への関心も高く、学校行事・PTA活動にも協力的かつ積極的である。

3. 学校の概要

本校は、明治5年に開校し、本年で111年の歴史を有している。高度経済成長時には、隣接都市への人口流出が多く、過疎化現象を呈していたが、現在では停滞し、昭和57年度 児童数243名・学級数8・教員数13名の学校であり、今後も大きな変動はない状況である。

(1) 教育目標

- つよく たくましい体力と気力をもち、積極的に行動できる子ども
- あかるく 豊かな情操と大きな理想をもち、明るく規則正しい生活のできる子ども
- かしこく 自ら学ぶ方法を身につけ、意欲的に問題の解決ができる子ども

(2) 学校経営の目標

(次ページ参照)

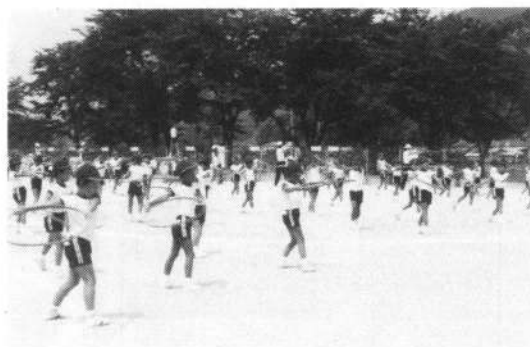
4. 特徴的な活動

健康教育に取り組んで進めてきた主な活動に次のようなものがある。

(1) 体力づくりをめざす活動

- 「あすっ子タイム」——業間体育

本校独自の、輪を使った「足小体操」・学年を越え楽しく仲よく踊る「フォークダンス」・楽しみながら力いっぱい運動できる「遊具ローテーション」を組み合わせ、楽しく遊び運動することにより体力の向上を図っている。



足小体操



遊具ローテーション

○楽しい体育学習

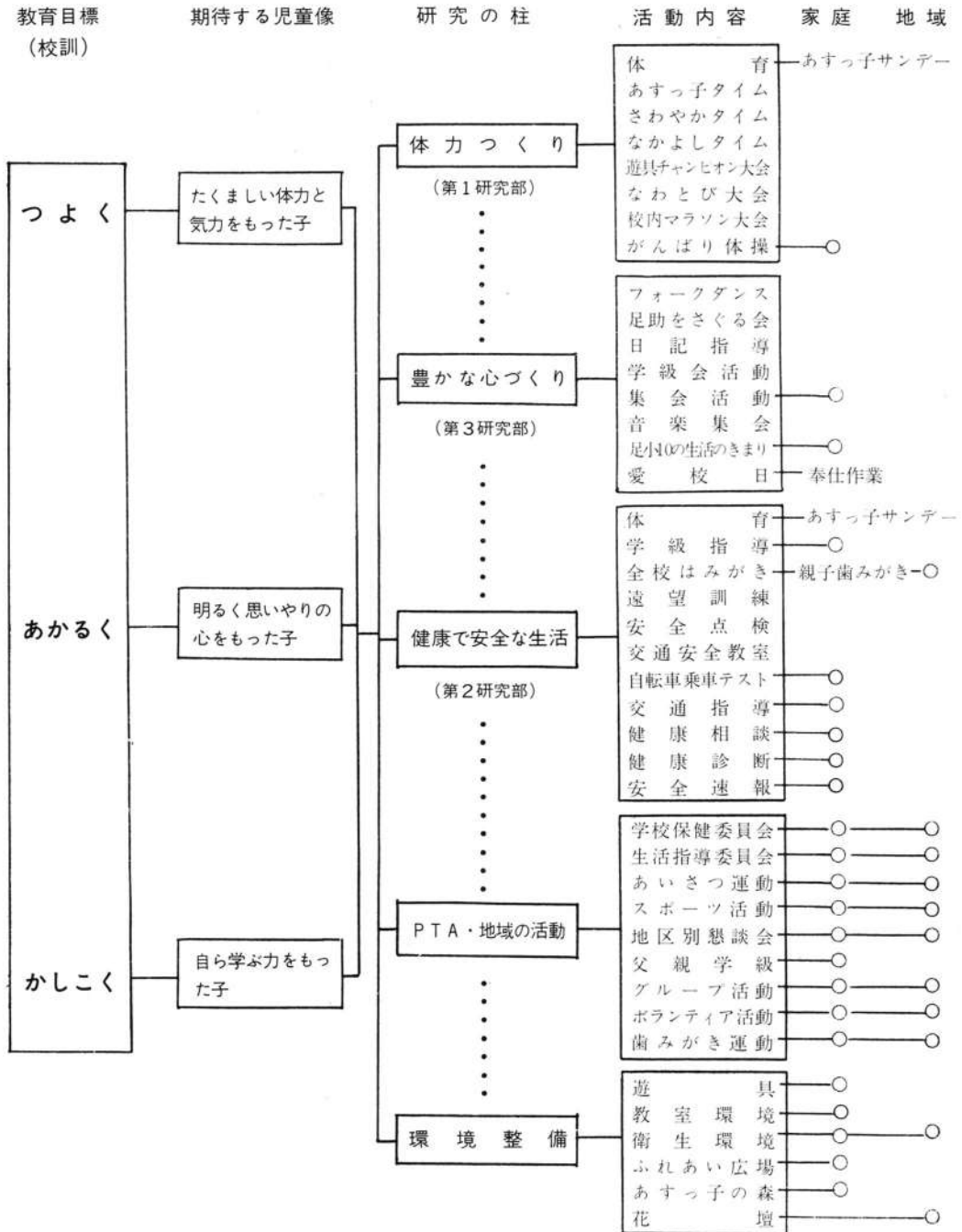


ゲームのルールについての話し合い

学校経営の目標

教育目標具現化の中核となる健康教育活動

◎豊かな心とじょうぶな体を育てる保健活動——恵まれた地域環境を生かし、ふれあいを大切にした楽しい学校生活の創造

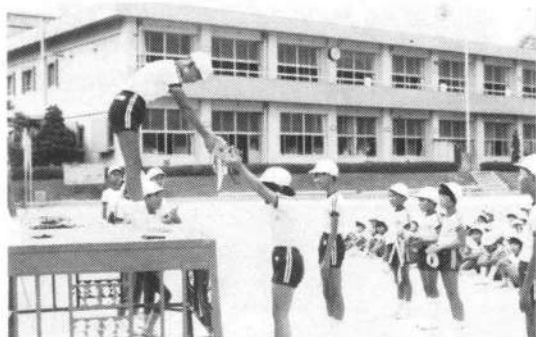


○楽しい体育学習

子どもが喜びを感じ、積極的に学習に取り組めるようにゲーム化したり、音楽でムードづくりをしている。

○遊具チャンピオン大会

定められた20種の遊具を使って、速さ・回数・距離に挑戦しチャンピオンを競う中で、運動好きな子どもを育てるようにしている。



メダルを受ける新チャンピオン

○がんばり体操

ローレル指数160以上の児童を対象に、「がんばり体操」と名づけた肥満児対策に力を入れている。



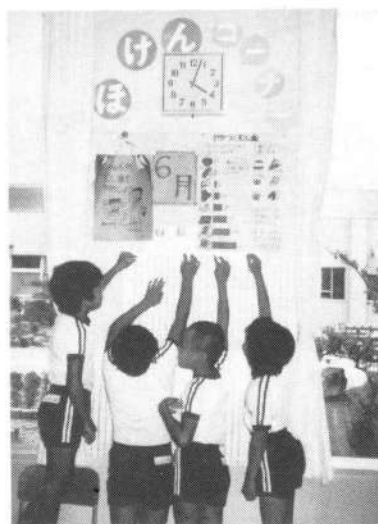
だれよりも早く

ーはりきるがんばり運動ー

(2) 健康に関する意識の高揚と習慣化をめざす活動

○保健コーナー

保健についての興味や関心をもち、自主的に健康な体づくりができるよう、学級独自のアイデアを生かし活用を図っている。



子どもとともに工夫する
「保健コーナー」

○給食後の歯みがき活動

給食後は必ず歯みがきをし、う歯予防に努め、習慣化を図っている。



ていねいにみがきます
ー給食後の歯みがきー

(3) 望ましい生活習慣の形成と情操陶冶をめざす活動

○足小10の生活のきまり

児童昇降口に「足小10の生活のきまり」を掲示し、生活態度の意識化・態度化を図っている。

○音楽集会

全校児童が「ふれあい広場」に会し、今月の歌・お楽しみコーナー・リクエストコーナー・先生登場など、広場いっぱい声を響かせ、心豊かな子どもの育成を図っている。



歌声が響く「ふれあい広場」の音楽集会

○足助をさぐる会

足助の歴史を知り、郷土を愛する心を育てようと、3年生以上が、ゆとりの時間を活用して実施している。

○「あすっ子の森」

自然に親しみながら、樹木や鳥類を観察したり、木登りや起伏の多い場所で子ども達が生き生きと活動する場としている。



樹木の中で楽しく活動する

「あすっ子の森」

(4) 家庭・地域との連携をめざす活動

○「あすっ子サンデー」の中核をなす学校保健委員会

心身ともに健康な子どもの育成のため、学校・PTA・各種団体・関係諸機関の方々の出席を願い、子どもや家庭、地域の実態をもとに対策を立て、実践活動を重視し、毎月・第1日曜日を、親子のふれあい活動の日「あすっ子サンデー」を実践している。

○「あすっ子サンデーの広がり」

「あすっ子サンデー」が核となって、毎日の活動（早朝かけ足・体操・夜のジョギング・親子歯みがきなど）へと発展し、更に近隣への呼びかけが、地域ぐるみの実践へと大きくふくらみ、あいさつ運動・歩け歩け運動・勤労活動・奉仕活動を実践している。



親子の心がふれあう「あすっ子サンデー」



おとしよりから子どもまで参加した
一歩け歩け運動

5. おわりに

学校での教育活動の基盤は、学級経営にあると考えている。個々の子どもを理解することが教育活動の大前提であり、積極的に子ども達の中にとびこんでいく教師の姿勢を大切に、子どもとのふれあいを少しでも多くするよう心がけている。

このふれあいを基礎として、からだづくりと心づくりの調和的発達をめざし、体力づくりを主とした活動の中に、フォークダンスや上下学年の組み合わせを取り入れたり、勤労体験の活動やボランティア活動を大切にして推し進めている。

健康教育活動の推進は、学校教育は勿論、地域の教育力に期待するところが大きい。今日までの取り組みを通して、地域ぐるみの活動が著しい盛り上がりを見せていることは、力強いかぎりである。更に、家庭・地域との連携を深める日々の教育実践を今後も強力に展開していきたい。



自らやりぬく大島の子

—豪雪の中にたくましく生きる—

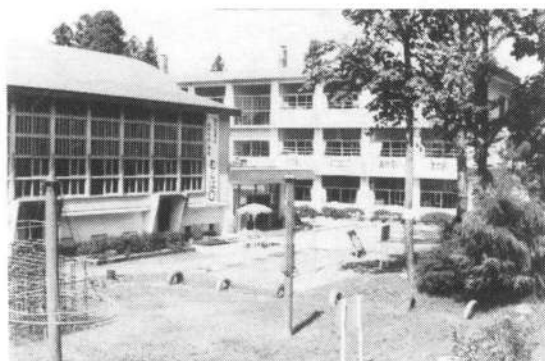
新潟県東頸城郡大島村立大島小学校

校長 竹内 正和

1. はじめに

大島小学校が健康教育に取り組んでから7年になる。昭和51年に当校に着任早々この問題に取り組んだ。以来毎年県の健康優良学校に応募し、昭和55年県優秀校・56年県特別優秀校として表彰を受け、本年度全国特別優秀校の栄に浴した。

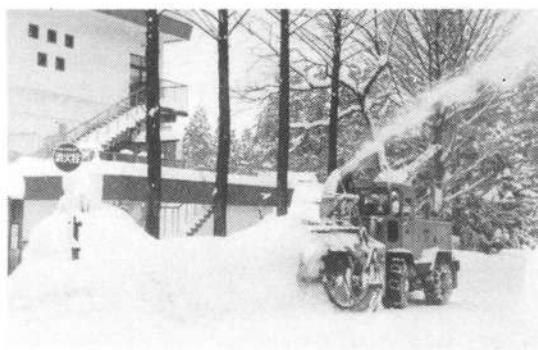
本校では、健康教育を学校教育の基盤に位置づけて教育目標や学校経営方針を重点化し、全教育活動を計画的、組織的に組み入れその実践に努めてきた。



校 舎

2. 学校の概要

本校は明治6年に創立されたが、それ以前より学校所在地近くに私塾が開かれており、教育に対する伝統が培われていた。村は豪雪地帯、東頸城の中央に位置し昭和56年の豪雪には最高5m85cmを記録した。過疎の波はこの農山村を、はずす訳もなく、昭和30年三村



ブルドーザーヒーターの活躍で道路が確保される

合併時の人口7,363人は3,704人と激減している。このような状況のなかで村当局が村の将来発展のために学校教育に寄せる期待は大きいし、学校が地域住民と語り手をたずさえて教育の実をあげることも重要な意味をもつものである。

これらをふまえ学校経営の基本を“より楽しく、より美しく、より健康的な学校づくり。におき、少人数学校（昭和57年度76名）の長所を生かし、一人ひとりの体・徳・知の豊かな充実に努めてきた。



県知事揮毫の知育体

また本年度の大島の子の理想像として、

お もいきりやる気を出します。

お もいやりのあるやさしい子になります。

し んぼう強くやりぬきます。

ま るい輪になってなかよくします。

を設定し、しおり、下敷、額などの作成により児童・PTAへの徹底をはかってきた。

教育課程の編成に当たっては、学校生活を7期に分け、それぞれの期に重点目標を立て、相互の関連をはかりながら意欲的な指導に努めるようにした。

3. 特色ある活動

(1) 地域・父母・教師・児童一体の保健活動

昭和46年第一回の学校保健委員会以来、児童保健委員会、PTA保健部、地区体育協会などの協力と実践に支えられてその効果を着実にあげてきた。学校保健委員会は本年度より年間計画を立て見通しをもった活動をはかっている。また保健だより等に対する親の意見、アンケートの結果なども活用するようにしている。

(保健だよりについての親の意見)

高学年になるとムシ歯が増えるのは、この位ならいいだろうとか、親に隠れても自分でおやつを買える事、そして家庭での歯みがきが本当に良くできているかどうかと言う事に、つながるような気がします。我家でも、上の娘が歯みがきをする時に、いつも洗面所の戸をしめるので、さては？…と思い、それから妹と一諸にさせることにしました。そして、戸はしめない事にして、ちゃんとやっているかどうか見える様にしています。

甘いものがない日、おやつの日も特色ある活動であり、よく父母にも理解されつつある。甘いものがない日は毎月第3日曜日と決め、この日は甘いおやつを控えることを重点に活動を進めている。これとタイアップするものとしておやつの日がある。水曜日が1～6年まで6限までの活動日に統一してあるので、この日に学校でおやつを作って出している。このおやつのは材料は、ジャガイモ、サツマイモ、カボチャなど地域で

話し合いのテーマ

月	話し合いのテーマ
4	“大島の子の理想像について話合おう” ●児童・家庭・地域への理解（全体） “雪消の大島をきれいにしよう” ●地域子ども会・育成会との連絡・提携（地域）
5	“子どもの健康状態を知ろう”（学年） ●本年度の健康診断の検討 う歯・視力の状況
6	“子どもの心の健康について考えよう”（地域） ●地域・家庭における子どものようす 地域・家庭における子どものあいさつ運動 一声運動の推進
7	“親子スポーツを計画しよう” ●親子体育デーを決めよう 親子なわとび大会をしよう “小さな親切運動の実践を高めよう” ●あいさつ運動 手つだい・手助け運動
8	“子どもの生活実態を記録しよう”（学年）
9	“子どもの近視の状況を知ろう” ●学校・家庭における児童の姿勢（学年） 明るさについての検討（全体） “親子会議について検討しよう”
10	“子どもの近視の状況を知ろう”（学年） ●学級・家庭における児童の姿勢 家庭の学習環境
11	“子どもの薄着について考えよう”（学年） ●子どもの衣生活の実態 家庭・学校での皮ふの鍛練
12	“部落行事や冬のスポーツについて話し合おう” ●部落における行事への参加（地域）
1	“甘いものがない日の反省と検討をしよう” ●実態調査（学年） 家庭での取り組みと家庭での変化
2	“年度の取り組みの反省をしよう”（全体） ●児童・家庭・地域の状況
3	“新年度への希望”（学年）

とれる作物で、これを工夫して与えることにより児童も親も自然の味を見直している。

ふるさとジュニアスクール・少年卓球教室などは公民館、地教委が主体となって児童の活動を促進している。長期の休業中など親子体力づくりの活動が各部落で実践され、ふれ合い活動としても評価される。

大島小唄は地区の民謡であり、老人会から教えてもらい、児童集会や運動会で発表している。

(2) 杉の子活動

いわゆる“ゆとりの時間”を杉の子活動とし、この中に主として

- 杉の子タイム（月・水・金の6限25分）
- ひろば（水・金の業間、歌とお話）
- 体力づくり（火・木の業間）
- 花づくり（杉の子タイムに実践）

の四つの柱を設定して活動している。杉の子タイムでは、花づくりのほかに学級共同の研究活動や稲作（6年）畑作（5年）など多彩な実践活動がなされている。6年生が生産した米、5年生の小豆を主体に収穫祭も計画され、4年生は野沢菜を、1～3年は花の種子を持ちよって全校で楽しい時間を過ごしている。また稲作によって生産される“わらは、全校でわら細工大会を計画、地域の老人会を講師にしてみたい、わらじ・ぞうり作りなどに活用している。

山村でも昔どおりの
手植えは少なくなった

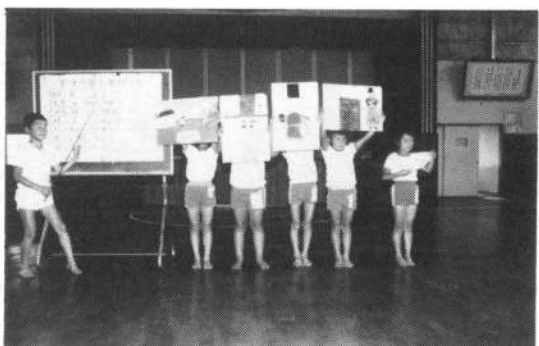


おとしよりにならって
ぞうりづくりに挑戦



児童の研究発表

昔ばなしが劇化されたり、見ものがたりが紙しばいになって発表される。



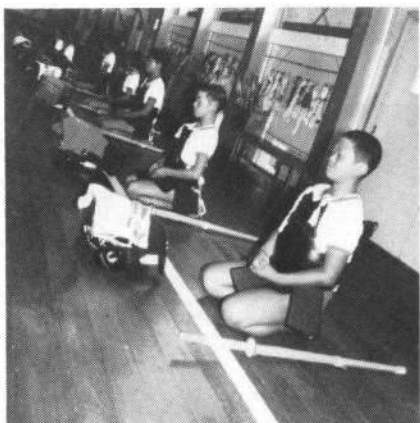
(3) 運動環境施設の充実

“はばたけ大島。としてなわとび体操と竹刀運動を全校で取り組んでいる。ともに各学年の活動と、全校一斉の活動とを取り入れている。朝マラソンは春～秋までは上半身はだかで毎日実践している。冬季は、体育館で5分間マラソンを行っている。



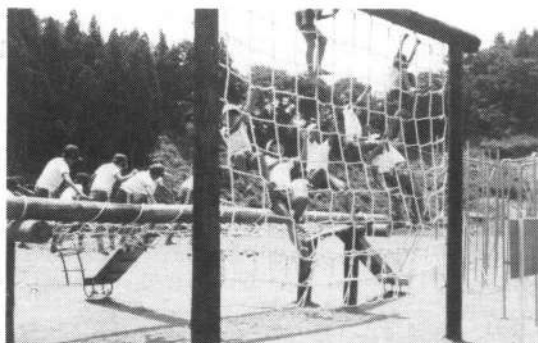
はばたけ大島 I（全校なわとび体操）

大島アスレチックコースは、校地のあらゆる場所を活用して23種類のものが設置されている。鉄棒、ジャングルジムなど購入施設もあるが、大島橋・的あて・あみ橋・わたりづななど教師の創意工夫によるものも多い。

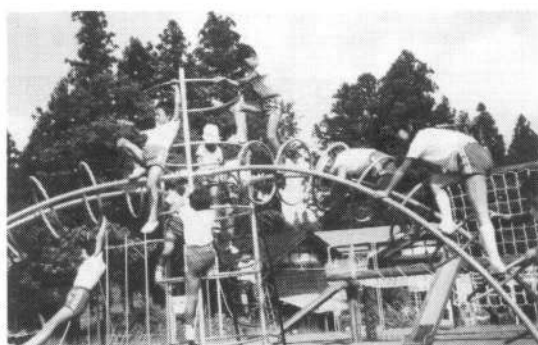


はばたけ大島Ⅱ（全校竹刀運動）
剣道クラブの活躍である

校地内に23種類の体力づくりの施設がある
子どもたちは力いっぱい運動に励んでいる。



朝マラソン、校庭からスキー場の坂道をのぼる、
がんばり坂と名づけられている。



走ったあとは自分の距離を記録に残す。
（低学年用）



(4) 健康教育年間指導計画の作成

健康教育が児童の体の健康のみにとどまるものでないことはいうまでもない。わが校では体・徳・知……からだと心とあたまの健康としてとらえている。教科の年間指導計画のほかに従来からそれぞれあった「学

校保健安全計画」「特別活動計画」「道徳全体計画・年間指導計画」「杉の子活動計画」「特別活動計画」等々を一つの体系に整理し、まとめて「健康教育年間指導計画」を作成した。これは学期毎の大綱と毎月のもので二種類作成している。(一学期と4月を紹介)

一学期の主な活動事例(めあて)		
めあて	第1学期	○やる気を起こさせる
	第1・2教育期	○生活のしかたをきちんとする ○学力や体力の基礎を固める
学 校 行 事		
学校管理活動	心 身	○定期健康診断 ○体力づくり計画 ○う歯集団治療 ○教育相談 ○夏休み親子体力づくり計画 ○スポーツテスト
	環 境	○安全点検(校舎内外、通学路、遊具、朝マラソンコース、自転車、プール、遠足、林間学校) ○避難訓練計画作成 ○防災器具点検
保健安全活動	保 健	○甘いものがない日 ○目の体操、歯みがきとフッ素洗口 ○姿勢カレンダー作成 ○健康相談 ○汗ふき運動
	安 全	○通学途上の危険箇所の確認 ○修学旅行における道路歩行のし方 ○遊びと運動 ○自転車の安全な乗り方 ○作業時における安全
	給 食	○安全で手際よい運搬・配膳 ○正しい手洗い ○正しい盛り付け
	清 掃	○校舎内外整頓 ○ほこり追い出し運動 ○清掃表彰
	生指 はりあい活動	○生活のしかたをきちんとする ○学力や体力の基礎をかためる
	徒導 なかまづくり	○集団適応指導 ○集団行動の徹底 ○教育相談 ○部落子ども会
	保 健 学 習	○からだの発育 ○発育の男女差 ○人の一生の体の変化 ○病気の起こり方 ○病原体で起こる病気の予防 ○環境と病気
学校保健委員会		
○大島の子の理想像について ○雪消えの大島を美しく ○子どもの心と体の健康 ○親子スポーツ計画		
心を育てる活動	道 徳	○生命尊重・健康安全 ○自主自律 ○不とう不屈 ○動物愛護
	道徳的实践	○あいさつ運動 ○学級園づくり ○体力づくりの充実
杉の子活動	杉の子タイム	○剣道・なわとびの隊形作り ○手作業(低) 文化の創造(中) 勤労(高)の学習の計画と実践 ○小動物の飼育
	ひろば	○自分の経験したことを話そう ○自分の気持ちをみんなに話そう ○心をひとつにして歌おう ○身体表現を使って、楽しく歌おう
	体力づくり	○新潟往復朝マラソン一斉指導 ○なわとび体操 ○剣道 ○体力づくり検定 ○フィールドアスレチック大会 ○大島地区体育大会
	花つくり	○花壇 ○学級園計画 ○土作り ○種子まき・育苗・植付け
組織活動	児童学級会	○学級のめあて、係の決定 ○学級会の持ち方 ○一学期の反省
	児童会	○一年生を迎える会 ○廃品回収 ○球技大会 ○七夕祭り ○長なわとび大会 ○新聞発行 ○校内花いっぱいコンクール
	クラブ	○所属クラブ決定 ○各クラブ活動の組織・年間計画の作成
	学級指導	○登下校 ○楽しい会食 ○歯の健康 ○夏休み
	教師の活動	○学級経営案作成 ○健康教育実施計画作成 ○授業研究
	地域ぐるみの活動	○交通安全教室 ○廃品回収 ○体育大会 ○PTA研修会

4月

めあて	第 1 学 期		やる気を起こさせる	
	第 1 教 育 期		生活のしかたをきちんとする	
学 校 行 事			新任式 ・ 始業式 入学式 定期健康診断 6年修学旅行	全校テスト 安全の日 親切の日 体重測定 P T A 総会 家庭訪問 大掃除
学校管理活動	心	身	定期健康診断 ・ 体位測定 (身長・胸囲・座高・体重) ・ 視力・色覚・聴力・歯科・眼科・耳鼻科の検診 ・ 歯の集団治療 学校健康教育計画の作成	定期健康診断計画作成 健康診断用具点検 健康点検簿準備 (健康手帳・健康診断一覧表) 健康観察板整備 保健室整備 (救急薬品を含む) 机・こしかけ調整 体力づくり計画の作成 (朝マラソン計画) 修学旅行の保健と安全 給食室衛生点検 子どもの生活目標提示
	環	境	校舎内外安全点検簿作成及び点検 地域安全確認計画作成	通学路の安全点検 避難訓練計画作成 防災組織設置 遊具安全点検 朝マラソンコース安全点検
保健安全活動	保	健	◎健康診断のうけ方 ・ 利用のしかたを考えよう からだの清潔 手洗い場 ・ トイレの使用法 うがい・手洗いのしかた	健康手帳の活用方法 体位・体格・疾病の様子 歯のカード・体重測定グラフの記録 目の体操・歯みがきの取組み 甘いもの・のびのびの取組み フッ素洗口の取組み
	安	全	通学途上の危険箇所 通学時における行動のしかた 集団登校のきまり	交差点・せまい道での通行 対面交通のしかた 廊下や階段の歩きかた
	給	食	◎楽しい給食をしよう 給食だより 正しい身なりと室内の整頓	安全で手際よい運搬・配膳 心をこめた食事のあいさつ なかよし会食
	清	掃	清掃組み分け決定 用具の点検 ・ 補給	用具配布表 危険物拾い 校舎内外の整理整頓
	生徒指導	はりあい活動	◎学校のきまりを知ろう 元気なあいさつ	よい子のきまり指導 正しい歩行 体育館の使い方 名札の記名 朝マラソンのあとの行動 (花の水やり・マジックの移動)
		なかまづくり	健康カルテ作成 家庭環境調査	集団適応指導
	保 健 学 習		からだの発育 人の一生の体の変化 身長・体重・体つきが変化するとき	病気の予防・病気のおこりかたのいろいろ 病原体・環境・体の抵抗力・生活行動と病気
	学 校 保 健 委 員 会		“大島の子”の理想像について話し合おう (全体) 児童・家庭・地域へのひろりと理解	雪消えの大島をきれいにしよう (地区) 地域子ども会・育成会との連絡・提携
	心を育てる活動		道 徳	(重点) 生命尊重 健康安全
道徳的実践			ハキハキ大声運動の展開 地域こぞってのあいさつ運動の展開	
杉の子活動	杉の子タイム	剣道の隊形をつくろう はばたけ大島(なわとび)の隊形をつくろう	おりがみを折る (1年) おもちゃを作る (2年) かべ新聞を作る (3年) 演劇の計画 (4年) 花つくりの準備 (5年) さつまいもつくりの準備 (6年)	
	ひろば	お話ってなあに? みんなで考えよう	心をひとつにして歌おう ・ 児童会歌 校歌	
	体力づくり	体力づくり年間計画作成 はげもう・マラソンカード等の作成	新潟往復朝マラソン指導 剣道一斉指導 はばたけ大島(なわとび体操)のグループ・隊形づくり	
	花つくり	種子まき準備 花だんの消毒・施肥	苗床の作成 (1年) 朝顔・百日草・金せんか (2年) ひまわり・百日草・いとう 花の種類決定 (3年) へちま・カンナ・サルビア (4年) カンナ・日々草・じゃがいも (5年) サルビア・マリーゴールド・ダリア (6年) コスモス・ナデシコ 石竹さつまいも	
組織活動	児童活動	学 級 会	学級のめあて決定 級長・副級長の決定	係の分担と計画づくり 一学期の集計計画づくり
		児 童 会	一年生を迎える会 (総務) 児童総会 (総務)	朝マラソンの準備 (体育) 保健室の整理 (保健) 発育しらべ (保健) 図書館の整理と読書カード (図書)
		ク ラ ブ	クラブの決定と所属	のどじまん大会 (放送) 学級マンガコンクール (広報) 清掃用具の整備 (整備)
	学 級 指 導		◎学級の組織づくりとなかま意識の醸成 学校のいきかえり 給食当番	安全な歩行 楽しい給食 通学班 楽しい会食
	教 師 の 活 動		学級経営案の作成 諸帳簿の作成	家庭訪問 健康教育実施計画の確認 村教員協議会 学級 P T A
	地域ぐるみの活動		P T A 総会・組織づくり 学校保健委員会	春の交通安全指導 郷土美化運動 甘いもの・のびのびの推進

4. その他の活動

昭和52年度から新潟大学・学校歯科医の指導のもと「フッ素洗口」を実施している。ムシ歯予防にはフッ素という薬のみに頼ることなく、1日3回の歯みがき、甘いもののない日の運動などもあわせて実践している。昭和52年当時1人平均歯本数2.5本・う蝕り患者率76%のものが57年度には1.3本、59%と激減している。これには年2回の臨時検診、集団治療に当たって下さる学校歯科医の協力も大きい。



年3回の入念な歯科検診

C1より悪い歯は1本もないようにしている



フッ素集団検診
歯みがきテスト
などとならんで
一日3回歯みがき
もきちんと実行

このほかランチルームのない中で、学年や部落の組み合わせなど工夫して、理科室・図書室を使つての会食（3学年ずつ組み合わせ）や部落ごとの会食なども取り入れ、学校給食に変化やうおい、ふれ合いを工夫している。



1～3年の低学年会食、この他に2、3、5年と1、4、6年というようにいろいろに組み合わせで全校会食を工夫する。

（理科室と図書室を使用する）

5. おわりに

全国審査において下さった山内東大教授は「引っこみ思案で消極的な子どもだけかな、と思っていたが、そうではなかった。とても元気で声も大きい。一つひとつの活動は、子どものアイデアをよく引き出し豊かで内容が充実している」と評された。これが我々の長年の願いであったわけで、今回の受賞によりそれが認められたことに喜んでいる。今後益々発展させるべく努力をしていきたい。



地域の民謡大島小唄が生き生きと表現される

大規模の部（19学級以上）

全国特別優秀校	富山県西砺波郡福光町立福光中部小学校
全国特別優秀校	山口県徳山市立德山小学校
全国優秀校	愛知県蒲郡市立西浦小学校
全国優秀校	岡山県赤磐郡山陽町立山陽西小学校
全国優秀校	広島県広島市立可部小学校

中規模の部（7～18学級）

全国特別優秀校	愛知県東加茂郡足助町立足助小学校
全国優秀校	岡山県岡山市立南方小学校
全国優秀校	福岡県遠賀郡遠賀町立広渡小学校
全国優秀校	秋田県横手市立旭小学校
全国優秀校	滋賀県近江八幡市立岡山小学校

小規模の部（6学級以下）

全国特別優秀校	新潟県東頸城郡大島村立大島小学校
全国優秀校	愛知県北設楽郡豊根村立三沢小学校
全国優秀校	静岡県周智郡春野町立北小学校
全国優秀校	香川県三豊郡山本町立辻小学校
全国優秀校	岩手県二戸市立御返地小学校

育ちざかりの
ひと粒！



体力をつけ健康を保つ

歯・骨を丈夫に……

カワイ肝油ドロップ



河合製薬株式会社

東京都中野区新井2-51-8